

参考資料

用語集
策定体制

用語集

【あ行】

用語	内容
アクセス	交通の利便性、または交通手段の連絡。
ICT	「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略であり、通信技術を活用したコミュニケーションのこと。
アプリ	アプリケーションの略。
アプリケーション	エンドユーザがコンピュータ上で特定の作業を行うために開発されたソフトウェアプログラムのこと。
アメニティ	環境などの快適さ、建物・風景などの快適性。
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。
インフラ	インフラストラクチャーの略語。道路、鉄道路線、バス路線、上水道、下水道、電気、ガス、電話など、社会的基盤を形成するものの総称。
ウォーカブル	「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語。「歩きやすい」「歩きたくなる」「歩くのが楽しい」といった語感をもつ。
AI オンデマンド	AI を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステム。
エコ	「エコロジー」の略。自然環境保護運動。人間も生態系の一員であるとの視点から、人間生活と自然との調和・共存を目指す考え方。
LCC	Low Cost Carrier 頭文字を取った略称であり、低コストかつ高頻度の運航を行うことで、低運賃の航空サービスを実現する新たなビジネスモデルを採用した航空会社のこと
温室効果ガス	大気中に含まれる二酸化炭素 (CO ₂) やメタンなどのガスの総称で、地表から放射された赤外線の一部を吸収し、温室効果をもたらす気体のこと。
SDGs (エス・ディー・ジーズ)	「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。
大型プレジャーボート	スポーツ又はレクリエーションに用いられるヨット、モーターボート等の船舶の総称。
OD	Origin (起点・出発点) と Destination (終点・目的地) の略。自動車起終点調査 (OD 調査) は、道路交通の実態を把握し、道路の計画、建設、管理などについて基礎資料を得ることを目的とした、全国一斉の自動車の利用実態調査です。
オフピーク	「ピーク時を外した」という意味合いの英語表現。

【か行】

用語	内容
カーシェア	一般的に、登録を行った会員間で特定の自動車を共同使用するサービスのこと。業務用や個人利用、その両方を対象とするものなどがあり、様々な形態のシェア（共有）するシステムがある。
幹線道路	都市において、骨格的な道路網を形成し、比較的高水準の規格を備えた道路。
QRコード	株式会社デンソーウェーブが開発したモバイル端末用のマトリックス型二次元バーコード。QRコード対応の携帯でバーコードを読み取るだけで、サイトにアクセスしたり、アドレス帳への登録ができたり、情報を取得できたりする。QRは「Quick Response（クイックレスポンス）コード」の略。
協働	一つの目的のために力を合わせる事。
グリーンスローモビリティ	電動で時速 20km 未満で公道を走る事が可能な4人乗り以上のパブリックモビリティ。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。
クルーズ船	乗客に船旅（クルーズ）を提供するための旅客船である。巡航客船ともいう。
景観	風景。景色。
交通空白地有償運送	バスやタクシーなどの公共交通機関によっては住民に対する移動手段が確保できないと認められる場合において、NPO法人などの非営利団体が営利目的とは認められない範囲の運送の対価によって、自家用自動車を使用して運送する運行形態のこと。
コミュニティ	共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域及びその人々の集団。地域社会。共同体。
コミュニティサイクル	特定の区域内に複数設置されたサイクルポート（専用の駐輪場）で共用の自転車を乗り降りすることによって、多くの人々が自転車を相互利用する仕組み。レンタサイクル、シェアサイクルやシェアリングサイクル、自転車シェアリングともいう。
コミュニティバス	普通の路線バス（乗合バス）と同様、道路運送法などの規定に従うものであり、既存の路線以外のバスを必要としている地域に走らせるバスのこと。

【さ行】

用語	内容
サブスクリプションサービス	顧客が月1回、年1回などで料金を支払って受けられるサービスのこと。「サブスクリプション」とは、英語の subscription を語源とする「予約購入・定期購読・継続購入」などの意味を持つ言葉。
C I Q	税関 (Customs)、出入国管理 (Immigration)、検疫所 (Quarantine) の略で、貿易上必要な施設のこと。
シェアサイクル	コミュニティサイクルのこと。
シルバーカー	高齢者が買い物などに使う手押し車のこと。

修景	建築物や公共施設の形態・意匠・色彩を周囲のまちなみに調和させることや、都市計画的な景観整備を行うこと。
生活道路	幹線道路から分かれる道路。市内や地域内の移動など、身近な移動に対応した、地域住民の生活を支える道路。
ソフト	活動や取組のこと。
石灰岩堤(せっかいがんでい)	サンゴ礁の隆起による島の形成過程でできあがった石灰岩からなる細長い丘陵地形のこと。
ゼロエミッション車(ZEV)	排出ガスを一切出さない電気自動車や燃料電池自動車を指す。ZEVは「Zero Emission Vehicle」の略。
ゾーン	地帯。区域。範囲。

【た 行】

用語	内容
大規模集客施設	映画館や店舗、飲食店などで、床面積が1万㎡以上のものの総称。広い範囲から多くの客を集めるため、車利用に対応した大規模な駐車場を備えるものが多い。
超小型モビリティ	自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両のこと。
中心市街地	その都市において歴史的に「都心的機能」を果たしてきた地域で、都市の中心部に所在し、主要な駅など、交通拠点機能の立地や商業機能の集積が進んだ市街地。
デジタルサイネージ	屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアの総称。
デマンド型交通	利用者それぞれの希望時間帯、乗降場所などの要望(デマンド)に応える、新たな公共交通サービスで、タクシーの利便さをバス並みの料金で提供する交通。
道路交通センサス	全国の道路と道路利用の実態を捉え、将来の道路整備の方向を明らかにするため、全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車運行の出発地・目的地、運行目的等を調査するもの。交通量・旅行速度などの実測を行う「一般交通量調査」、アンケート調査等により地域間の自動車の動きを把握する「自動車起終点調査」がある。
都市機能	都市における社会的・経済的・政治的活動の仕組みや働き。単一の都市・地域として確保すべき住宅機能、医療機能、福祉機能、教育機能、防災機能などや、複数の都市・地域間で相互補完も行われる商業(卸売・小売)機能、サービス(金融・宿泊・情報など)機能、生産・流通機能、文化機能、レクリエーション機能などがある。
都市計画道路	都市計画法による一定の手続きを経て計画決定される道路であり、道路機能に応じて自動車専用道路、幹線街路、区画街路及び特殊街路の4種類に区分される。都市計画決定された区域内では、今後の施設整備に向け、一定の建築制限が適用される。
都市計画区域マスタープラン	都市計画法第1に定められた「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」のことであり、中長期的視点に立った都市の将来像を明確にするとともに、その実現に向けて広域的観点から、都市計画の基本的な方針として沖縄県が定める。

都市計画マスタープラン	1992年（平成4年）の都市計画法改正により規定された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」（法第18条の2）のこと。（略して「都市マス」または「市町村マス」）単にマスタープランと呼ばれることもある。
都市構造	人やモノが集まる「拠点」、拠点相互を公共交通などでつなぐ「軸」、面的広がりを持った「ゾーン」などにより構成される都市の形のこと。近年では、多くの人暮らしやすく持続的な発展の確保が可能となるような「集約型都市構造」が望まれている。

【な 行】

用語	内容
ニーズ	必要。要求。需要。
ネットワーク	個々のつながり。網。
乗合タクシー	同じ方面に行く人と乗り合いながら目的地（自宅や共通乗降場）へ移動する公共交通。
ノンステップバス	車椅子やベビーカーなどでも利用しやすいよう、床面を低くして、乗降口の段差（ステップ）をなくしたバス。

【は 行】

用語	内容
ハード	築造・建設のこと。
パークアンドライド	都心部の道路混雑を緩和するため、自動車を都市郊外の駐車場に止めて鉄道等の公共交通輸送機関に乗り換え、都心部にあるいは特定地域に入る形態のこと。
バスロケーションシステム	無線通信やGPS（全地球測位システム）などを利用してバスの位置情報を収集することにより、バスの定時運行の調整等に役立つほか、停留所においては近接情報を提供するシステムのこと。
バリアフリー	高齢者や障がい者等が社会生活をしていく上での物理的、社会的、制度的、心理的及び情報面の障壁を除去する考え方。都市交通におけるバリアフリー化とは、道路の段差解消をはじめ、音声や点字などによる情報提供などによって、高齢者や障がい者等が円滑に利用できるようにすること。
ブルーライン	自転車レーンを示す青色の道路標示のこと。先進事例では、サイクリング等の推奨ルートを明示している。
補助幹線道路	幹線道路と区画道路とを連絡し、これらの道路の交通を集散させる機能をもつ道路で、住宅地では近隣住区内に目的をもつ人々が、日常生活に利用する道路のうち、幹線的な道路をいう。
ボトルネック	瓶（ボトル）の口のように狭くなっている箇所のこと。スムーズな車両の流れを妨げる。

【ま 行】

用語	内容
MaaS（マース）	「Mobility-as-a-Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。
モータリゼーション	車社会化。自家用車の普及・大衆化。
モビリティ	動きやすさ、移動性、流動性などを意味し、乗り物などの人の移動に関するもの。
モビリティ・マネジメント	日常生活における移動を「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと自発的な転換を促し、「ひとり一人の行動や意識の問題をはっきりと考えながら、交通施策を転換させていこう」とする一連の取組。

【や 行】

用語	内容
ユニバーサルデザイン	年齢や障害の有無などに関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

【ら 行】

用語	内容
ライドシェア	一般ドライバーが自家用車を使い、有料で顧客を運送するサービスのこと。日本ではタクシー運転手に必要な第2種運転免許を持たないドライバーが有償で客を運ぶことは原則禁止とされている。
緑化地域	都市計画によって定められる地域地区の一つで、緑が不足している市街地などにおいて、一定規模以上の建築物の新築や増築を行う場合に、敷地面積の一定割合以上の緑化を義務づける制度。
ルール	規則。規定。きまり。
レンタサイクル	コミュニティサイクルのこと。

策定体制

本計画の改定にあたっては、事務局となる都市計画課が都市交通マスタープラン素案の作成を行い、計画の実効性を高めるため、街路・道路、公共交通を所管する庁内関連部局との調整を行うとともに、「宮古島市総合都市交通検討委員会規則(令和5年3月23日宮古島市規則第11号)」に基づき、学識経験者、交通関係事業者、市民又は公共交通の利用者の代表者、関係行政機関の職員などから構成される「宮古島市総合都市交通検討委員会」で協議しました。

■策定メンバー

区分	氏名	所属など	備考
学識有識者	神谷 大介	琉球大学 工学部 准教授	
関係行政機関	古謝 昌彦	内閣府沖縄総合事務局運輸部 陸上交通課 課長	
	村上 隼	内閣府沖縄総合事務局 運輸部企画室 室長	
	久場 兼治	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課 課長	
	上原 正也	宮古土木事務所 所長	
	石川 光司	沖縄県宮古島警察署 交通課 課長	
	関係団体	新里 哲	合資会社共和バス 代表社員
砂川 能樹		株式会社八千代バス 代表取締役	
豊見山 忠朗		協栄バス合資会社 代表社員	
森 良知		中央交通株式会社 代表取締役	
下地 隆之		宮古タクシー事業協同組合 会長	
平野 敦士		下地島エアポートマネジメント株式会社 常務取締役	
中村 雅弘		社会福祉協議会 会長	第1回・第2回
野原 勝			第3回
平山 茂治		一般社団法人 宮古島観光協会 専務理事	
根路銘 康文		宮古商工会議所 会頭	
上原 正行		宮古島市老人クラブ連合会 会長	

	上地 庸一	PTA 連合会 会長	
宮古島市	川平 陽一	宮古島市 建設部長	
	久貝 順一	宮古島市 企画政策部長	
	砂川 朗	宮古島市 観光商工スポーツ部長	
	松堂 英彦	宮古島市 福祉部長	
	砂川 勤	宮古島市 教育部長	